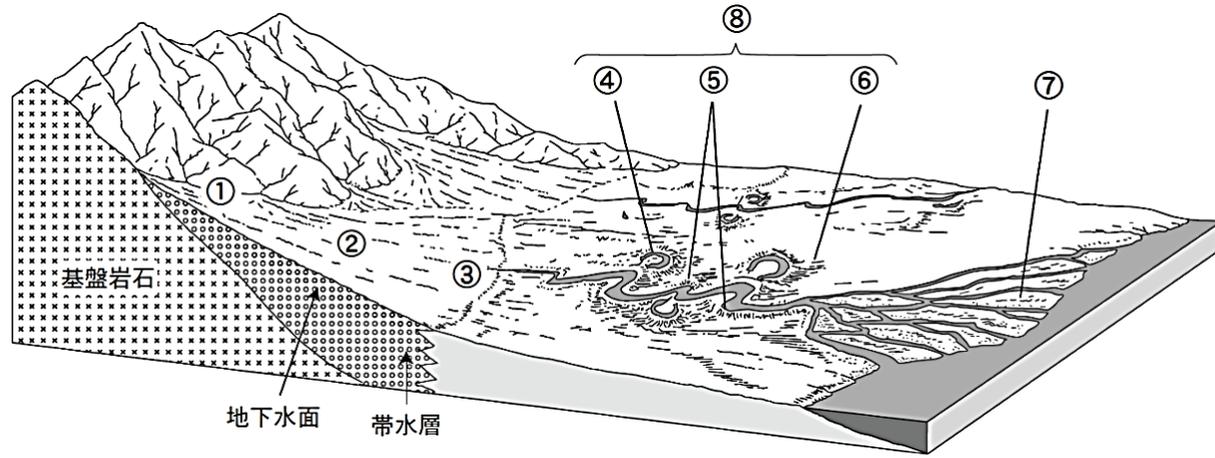


地理歴史科（地理） 学習指導案			
単元名	自然環境 「地理 B※現行」（地理探究※新）		
単元の目標 （単元で育成する資質・能力）	<p>① 地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて解決すること。</p> <p>② 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>		
具体的な評価規準			
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> 地体構造の分布と地形の特徴を理解している。 内的営力や外的営力とその働きを理解している。 世界の様々な地形（河川が作る地形、海岸線の地形、サンゴ礁、乾燥地形など）について、特徴と成因を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地体構造とプレート運動を関連づけて考えられる。 様々な小地形と人間生活との関わりについて考える。 小地形の学習を通して、災害時に安全な場所等を判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしたりしている。 地図帳や資料集から自ら情報を探し、活用している。 	
単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
一	1 2 3	<p>【評価規準】 大地形の特徴と現在の地球上のどこにみられる地形か理解し、災害のメカニズムや対応策を理解した上で活用できる。（知識・技能）</p> <p>【評価方法】 行動の観察</p>	<p>① 「地形の成因」、「地球規模の大地形」について、教科書や地図帳、資料集等の本文や図を読解し、話し合い活動で仮説を立てるなどして、現在に至るまでの地球の変化を理解する。</p> <p>またまとめの際に、地形と災害などの関係、災害時の行動等についても考察する。</p>
二	4 5 ⑥	<p>【評価規準】 小地形の特徴を身近な例を参考に理解し、地形と人間生活との関わりについてその関係性を説明できる。（思考・判断・表現）</p> <p>【評価方法】 行動の確認、記述の確認</p>	<p>② 「河川と海岸の小地形」について、教科書や地図帳、資料集等の本文や図を読解し、話し合い活動で仮説を立てるなどして、地形の成因や特徴を理解する。</p> <p>またまとめの際に、地形と人間生活との関わりや災害時の行動について、地形図や図を用い考察する。</p>
	本時		
三	7 8	<p>【評価規準】 特徴的な地形について、成因や特徴を理解し、その上で具体的な地域を参考に、地形と人間との関わりについて、考察させる。</p> <p>【評価方法】 行動の確認、記述の確認</p>	<p>③ 「その他の特徴的な地形」について、写真や図（カルスト地形なら秋吉台などできるだけ身近な例）からその地形の成因について考察させ、地形の特徴についても理解させる。</p> <p>またまとめの際に、地形と人間との関わりについても考察する。</p>

地理B 授業プリント

復習

下の図を見て①～⑧の地形名を記入しよう。



- ① () ② () ③ () … ()
 ④ () ⑤ () ⑥ ()
 ⑦ (三角州) ⑧ ()

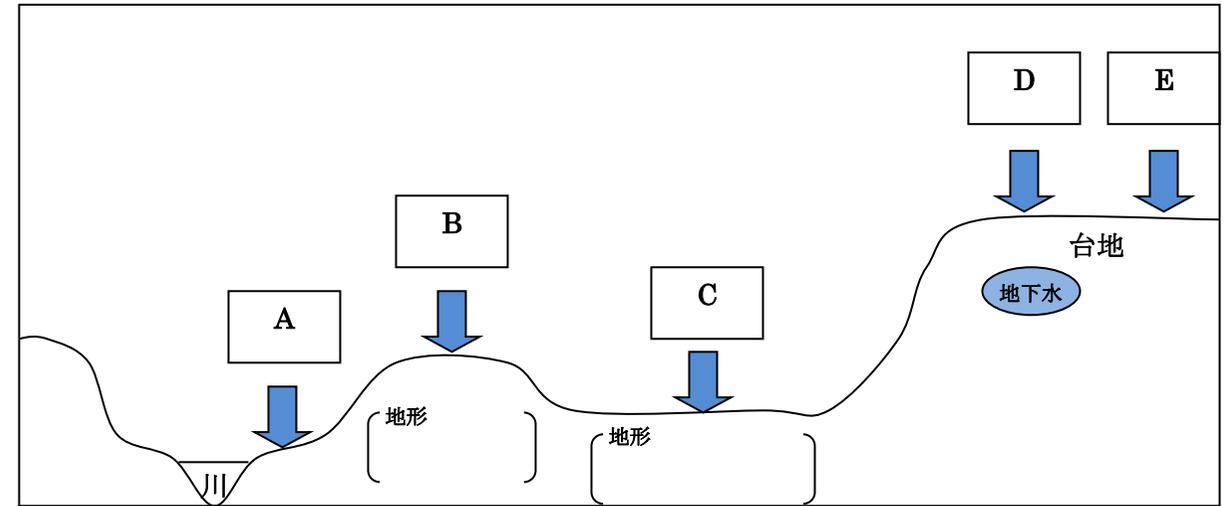
【今日のポイント～今日とはにかくこれを論理的に考えよう！～】

○土地利用について

	土地利用	理由
後背湿地		
自然堤防		

○集落の立地について

昔の人々はどこに集落（家）を建てたのか？ ※集落=人間の居住の本拠である家の集団の総称。



つまり、昔の人が家を作る（集落が成立する）ときに重視したことは、

()、()

○扇状地の土地利用

